

【意見及びその理由】

1-1	まず基本に、全国共通の申請書にする。顔認証ですべての手続き決済ができるようにする。最後に顔認証された本人が確認ボタンを押すだけの世の中になれば、間違いがなく、人件費も少なくなると思います。人間は人間にしか出来ないことを行う。出来ない人を補うだけで良いと思います。私の宿は、ボタンを押すだけです。アナログ部分は、事前の個人認証です。これさえ解決すると、事前の個人認証が必要なくなります。ぜひ、早急に進めてください。高山市が中心となり、デジタル庁を動かしてください。バラバラに動いていると今と一緒です。様式が違うということが無いように、てんでバラバラで無駄なことをしないようにして下さい。税金の無駄です。出来ないのならば、後発で、決まったことを真似したほうが賢明です。	8
1-2	参考資料を添付できませんでした。このフォームに記入するのは2回目です。どの程度のものが添付できるか記入したほうが良いと思います。この事だけでも、「高山市大丈夫かな」と心配です。他の事に力(税金)を注いだ方が良くと思います。	30
2-1	◆『利用者目線』であるということ PDFを見て、書いてある項目が「直感的にわかりづらい」と思った。会議をするための資料と、周知する場合の資料は分けて作るほうが良いのではないかと、パワーポイントで作るプレゼンのような内容にしたほうがわかりやすいのではないかと。	4
2-2	・まず明朝体を使うのをやめるところから始めると良いと思う。フォントに「UD」(ユニバーサルデザイン)とついたものがあるので、そちらを使うようにしたほうが良いのではないかと。(明朝体で書いてあると読むのが苦痛に思う人もいるらしいので。発達障害の傾向がある人に多いという話)	5
2-3	・「こういう改革をしていきたい」を、PDF3ページ目にあるようなイラストもまじえた『図』で説明していくのが良いと思う。細かな説明事項は最後の方にまとめるなど。伝えるためのものを作るならば、読ませる内容を構成するのも必要と思われる。6ページ目にあった『6. 基本的な姿勢、目指す姿／(1) 市民や事業者など“利用者目線”に立って進める』これを掲げるならなおさらである。	6
2-4	★「できた」という成果のみに着目するのではなく「出来」にも目を向けてもらいたいと思う★	1
2-5	◆小中学校のメールが届くようにしているが、このメールが「一方通行」である現在。学校関係にもメール、あるいはLINEのようなもので連絡が取れる仕組みを作りたいと思う。電話がかかってくるのがストレスであるという個人的な理由もある。電話だとその場その時に対応する必要があるからだ(夕方など家庭内の繁忙時には非常に困る。大体はこの時間が多い)。もちろん電話のほうが良い急な案件(子供の急な体調不良など)もあるため、一概に電話が悪いとはいえないのだが「その時」でなければならぬ要件以外はメールやLINEのような仕組みでの連絡がありがたい。また、一方通行のメルマガのようなメールでは、こちらの意見を学校側に伝えることも出来ない。学校のメールアドレスなどの作成をお願いしたい。	12
2-6	◆PDF内にあったデジタル化を進めることで市役所の中に余裕が生まれ、リアル対応が必要な方(デジタルがよくわからない方)に寄り添うことができるようになると良いと思っています	18
3-1	7. 具体的な取組み (1)取組みの柱「便利」～DXによる 市民サービスの向上～ウ.重要業績評価指標指標 現状値(R3.9) 目標値(R7.3) ●「行かなくてもよい市役所」を実現するについて、検討から具体的なサービスの置き換えをスピーディーに行ってほしい。今現在、平日17時まで市役所の窓口に行くことは働いていると難しい。	9
3-2	また市報やメルマガで情報を得ても、問い合わせをその時間に電話することが難しい。LINEで通知、LINEで問い合わせと回答が完了してほしい。保険会社のLINE窓口が大変便利なので参考にしてほしい。 <a href="https://www.sompo-japan.jp/line2020/">https://www.sompo-japan.jp/line2020/</a>	13
4	私は高山市の1市民で主婦です。この様な意見を言える場をつくって頂いてありがとうございます。急速なデジタル化に伴い便利になる事は大変素晴らしいと思う反面セキュリティ等の点は追いついていない今日この頃で不安ははかり知れません。ぜひ堤未果さんのデジタルファシズム(NHK出版)を参考にして頂きたいと思いメールいたしました。大切な市民の情報のサーバーを何処に置くかが重要になっている様です。どうぞ宜しくお願いします。	14

【意見及びその理由】

5-1	(1)行政手続きのオンライン化の推進に関して 税・公共料金の口座振替の申請(新規・変更)をオンラインでできるようにしていただきたいと思いません。金融機関等へ出向いて手続きを行うのを煩雑と感じて口座振替にしていない方もいるのではないのでしょうか。既にオンライン手続きが可能な自治体もありますので早急にご検討をお願いいたします。	10
5-2	(2)公金の收受・支払い双方におけるキャッシュレス化の推進に関して 高山市の税・公共料金の口座振替に利用できる金融機関は、長期間この地域の金融機関のみとなっています。インターネットバンキングがなかった時代でしたらそれで十分であったかもしれませんが、昨今においてはインターネット専門銀行や国内金融機関のインターネット支店をメインバンクとしている利用者も多く時代に合わせて変えていく必要があるのではないのでしょうか。既に一部の自治体では楽天銀行やおおぞら銀行で口座振替が可能となっています。来年より施行されます指定納付受託者制度を活用することにより、指定納付受託者(収納代行会社等)が提供する口座振替サービスを利用して全国の金融機関から口座振替による税・公共料金の納付が可能とならないかご検討をお願いいたします。口座振替が増えることにより納付済通知書等に係る事務処理の削減にも寄与することと思えます。	11
6-1	◇DX推進第一段階として (1)情報発信と共有の在り方 ・高山市内は古き良き日本の伝統文化や地域社会とのつながりが今もなお根付く貴重な町であると思えます。現在町内会を牽引している方は、多くが団塊世代以前の方々に情報入手方法は紙媒体(新聞や市民時報など)が主体の方もあれば、子供や孫と同居してネット環境がありDXに比較的抵抗の少ない方々など生活環境によって推進への理解に対する格差があるように思われます。そこで一番大切なポイントとして、インターネットやデジタル化への恐怖心を払拭することだと感じます。テレビや新聞を情報源とする場合、デジタル化に対して負のイメージが強いように思われます。(情報を取られる、詐欺に遭うなど) こうした不安感を明るいイメージに転換するためには、デジタル化への安心感や利便性によって社会の仕組みが具体的にどのように良くなっていくのかを知っていただくとともに、国と高山市が市民の個人情報や安全を守るというバックボーンを示すことで恐怖心を少しずつ取り除く情報を浸透させていくことが大切ではないかと思われます。ただ、「この方法がいいんですよ」だけでは興味関心がない方や否定的な感情を持っている方々に振り向いていただくことは難しいと思われます。より具体的に、都市部の知らなごかの情報としてではなく、実際に高山市民や身近な人が感じた利便性や安心感を積極的に知らせていくことで、興味関心や安心感を持っていただくことが推進の第一歩ではないでしょうか。	19
6-2	◇DX推進第二段階として (2)世代間を超えた人材の登用と組織編成 ・高山市は伝統文化を大切にしてきただけに保守的と思われる側面も有していると感じます。特に地域を牽引される先輩方の中にはデジタル化＝伝統文化や人情を軽視するという偏見もあるやに思われます。理解を深めていただくことで考え方を100%賛成ではなくても、見守ってやろうと思っていたことが大切と思えます。 そこでDXを推進する組織は次の3世代が混合した柔軟な組織が求められるのではないのでしょうか。 ①生まれも育ちもアナログ世代(ただし今回の場合はDXに対して理解のある方) ②アナログからデジタルへの移行期を知る世代(1980年代生まれ) ③生まれも育ちも完全デジタル世代 上記の中でもアナログとデジタルの架け橋、パイプ役となる②の世代がキーパーソンになると思われます。アナログとデジタル双方の良い点(アナログの温かみ、人情などやデジタルの利便性やスピード感など)と課題(アナログのめんどうさやデジタルのセキュリティ面)を理解して、高山の地域性と特性を活かしつつ、日本と世界をリードしていくための道を模索する柔軟な組織編成が必要と思われます。これまで伝統を守り育ててくださった先人たちの知恵と誇りを守りつつ、次のステップへ移行するためには技術的なことばかりに傾倒せず、人の想いを繋ぐことを優先することが成功のカギではないのでしょうか。高齢者が安心して次世代に託せると思えるDXの在り方を示すと共に次世代が押し付けられるのではなく、先人の生き方や想いに魅力的と感じ自発的にバトンを受け取り、さらに次の世代に渡そうと思えることが大切ではないのでしょうか。技術面に特化した編成ではなく、人と人との繋がりがこそ大切にしたい組織編成が理想的だと思います。	27

【意見及びその理由】

6-3	<p>◇DX推進の第三段階として (3)SDGsに基づく官民共同の取り組み ・すでにSDGsを推進し市内に出店をしている大手企業であるスターバックス、無印良品、ニトリ、ユニクロ等からの助言助力も仰ぎつつ、地元産業(地域振興券対象各社)や地域医療機関、公共交通機関、観光事業者等が連携して高山市民にDXの推進による日常生活での良い変化を実感してもらうことが先決ではないでしょうか。 スマートフォン の原理や仕組みを理屈で理解しなくても便利だから普及しているように、実生活の中でデジタル化によって今までよりも利便性が向上したという幸福感や安心感が推進の起爆剤になると思います。そうして企業のデジタル化を補うことと、市民の日常生活にデジタル化によるサービスの利便性や安心感を紐付けていくのが、DX推進組織の役割と感じます。全国からも成功例として挙げられる「さるぼぼコイン」との連携強化を促して地域の地産地消に対しては今以上にお得感を演出するなど、ゼロから創出するだけでなく、いますでに地域に根差している利点を活用することもできます。 (1)にも触れたようにテレビや新聞の情報に偏っている方々の中には、世の中が段々デジタル化していく認識はあっても、どこか都会の別世界の話で興味関心が薄いと思われる。高山市での取り組みにより地域の身近な人や家族がデジタル化による幸福感を共感することが一番理解を深めて頂ける、推進していく源になると思います。共通のイメージと共通の目的意識を持った人、企業、組織の繋がりと具体的な行動を一生にしていこうという官民共同の取り組みは大きなムーブメントになると思います。</p>	28
6-4	<p>◇DX推進の第四段階として (4)観光都市・環境都市・防災都市としての取り組み ・高山市の基幹産業である観光事業の下支えとより一層の発展はデジタル化する世の中において優先順位の高い事項です。そして緑に囲まれ自然豊かな風土は後世に継承すべき宝であると確信します。市民に対してのサービス向上とデジタル化の理解を深めてもらう政策とともに、観光都市・環境都市への具体的な政策推進は同時進行で進める両輪のような課題です。観光事業はすでにコロナ前からの取り組みがあり、国内外からの旅行客確保は世の中の落ち着きとともに回復傾向になると予想します。しかし京都が観光客受け入れ過ぎにより市民生活が脅かされた事例を他山の石として、過剰な観光客の流入とならないようにしたり、空いている観光エリアや駐車場を案内するアプリなど、AIやデジタル化を活用してコントロールすることが必要だと思います。(個人的には高山祭以外で人混みに溢れた高山は魅力が半減するようになります)この流入抑止と観光客を複数の観光エリアへ分散させる取り組みは、一時的に損をされる一方で見先の利益にとらわれるのではなく、より穏やかで落ち着いた高山を満喫していただける高山ブランドを向上させる付加価値に変換することも可能となると考えます。</p>	21
6-5	<p>・また世界が直面しているデジタル化とカーボンニュートラルへの取り組みは不可分の関係です。デジタル化する程に再生エネルギーの創出と電力供給量の確保は必ず大きな課題になります。現時点から高山の地域性にあった自然エネルギーの活用を進めるために、まずは企業レベルから促進できるよう国と市が共同で政策を促し必要に応じて助成するなど、財政的な支援も検討しなくてはなりません。(段階的に市民レベルまで浸透させる)</p>	22
6-6	<p>・また高山では毎年自然災害が多発しています。山間部の送電線や幹線道路が寸断されれば生活自体が立ち行かなくなります。高齢者や社会的弱者の方々も安心して生活できる環境を維持する為にも、気候変動に伴う予測の難しい気象条件でも事前に避難や備えを隅々まで行き渡らせるためにも再生エネルギー活用とデジタル化と活用は最良のツールとなります。 以上、初動として感じることを述べさせていただきました。大好きな高山市がより一層発展することを心より祈っています。</p>	23
7-1	<p>(1) ITを使ったDXを進めるために、ITインフラの充実が必要。 →若者はITに慣れているので、行動変容しやすいが、高齢者は携帯すらうまく使えない人もいますので、行動変容は至難の技ではないか？まずは50代以上の人にかんしてネットインフラを使ってもらうかを考えるのが課題。なので、まずは市内のあらゆる場所にタブレット等設置して、ネットは便利だという事をアピールしITに慣れ親しんでもらうのが先決ではないか？</p>	20

【意見及びその理由】

7-2	<p>(2) DX活用で、飛騨地域(地方都市)に住んでいても、メジャーブランドの大学卒業資格(医療系は除く)が取得できる制度(社会人専用)の創設希望(少子高齢化対策として)(飛騨高山大学構想に追加する形で)</p> <p>→高卒→大卒→就職の既定路線だと、その後結婚して子供ができるのに最低でも4年はかかるし、人によっては30代後半まで結婚しない場合もあり(晩婚)、合計特殊出生率の低下の原因になっている面もある。高卒→就職→結婚路線なら、婚期が早まるチャンスがあり、出生率改善が期待できる可能性がある。ただし、この路線だと、人々の学習チャンスや独身時代を満喫するといった時間を奪うことにつながるので、その対策の一つとして、飛騨地域で働きながらでもメジャーブランドの大卒資格が取れるように、各大学への働きかけとインフラ整備をし、大学卒業資格は都会に出なくても飛騨地域にいても、働きながら勉強して取得する事もできるという流れを作れば、少子化対策に繋がるのではないかと。また、大学のために都市部に行かなくて済むので、家計的にも助かる。</p>	24
7-3	<p>(3) 地方にいても都会と一緒にキーワード。</p> <p>若者の都市部への流出や人口減少対策として、DX推進で都市部のメジャーな会社を誘致し、飛騨地域でもメジャーな会社で働けるようにしてもらいたい。</p>	25
7-4	<p>(4) DXを活用し、健康管理ができる食堂を希望</p> <p>→独身で暴飲暴食傾向にある人の健康管理を目的に、タニタ食堂的な食堂を大手ショッピングセンターに誘致し、高山市として運営してほしい。予約制で利用できるようにし、健康管理に必要な情報を入力すればそれに合わせたメニューが注文できるような。</p>	26
8-1	<p>・庁内、行政サービスのDX化について</p> <p>デジタルイノベーションから取り組むこと、および総務省、デジタル庁、県の政策と足並みを揃えたDX化が進むことを期待します。本件については、「効率重視」と「効果重視」の視点で市の政策を検討していただきたい。「効果重視」とは、市の政策決定に関わる情報(およびインテリジェンス)についてどうすれば、適時的確な情報により政策決定を行えるかが重要であると考えます。例として、観光統計(およびその基礎となる情報)について年一回ではなく、四半期毎に中間報告を行えるようにするなど。</p>	2
8-2	<p>・民間企業との連携について</p> <p>地元企業のDX化を後押しするためには、受け手側の企業(の経営者)がDXに関心を持ち、自らがDX化を進める意識を有する企業から連携を進めていくことが現実的だと考えます。例えば、経済産業省の外郭団体であるIPA(情報処理推進機構)が進める「DX認定制度」の認定取得を市として推奨し、認定取得済企業経営者から各種有識者を選定することや、認定取得済企業に対する補助金制度、各種優遇処置などを実施し、DX化への対応の必要性を民間企業の経営者に意識付けしてゆく政策などが国の方向性と合致することでもあり有効と考えます。</p>	29
8-3	<p>・DX化のレベル定義の共有認識について</p> <p>各種委員会等にてDX化の議論が進んでいますが、DXについての認識は概ね一致しているものの、どのような段階を経てDX化を進めていくのかの定義が必要と考えます。例として、経団連が公表している「共創DX指標」などが参考になると思います。これは、DXをレベル毎に定義し、団体および組織がどの段階にあるのかを定義したものであり、どういう条件を整えば次のレベルに移行できるかを具体的に示したものです。先の「DX認定」についてはレベル2の「DX Ready」の段階にある企業を認定するものです。</p>	3
8-4	<p>・SDGsとの関係性について</p> <p>SDGsとの関係性について記述されていることは、評価に値しますが、重要なポイントはDXを進めることにより、SDGsと相反する取り組みが必ず発生します。その場合、DXとSDGsの両面から検討し、双方がアンバランスとならないよう、政策を決定してゆく必要があることを認識していただきたいと思えます。</p>	7
9-1 10-1	<p>問題点☆「国の方針に盲目的に従う事の危うさ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル関連法により個人情報データが第三者(民間企業)に提供され個人の権利がおかされている。</li> <li>・国(日本)のサイバー攻撃に対するセキュリティが甘すぎる。</li> <li>・巨大IT企業(GAFA)に一元化された国・個人情報を利用される。</li> <li>・国・行政に信頼がない状況でのマイナンバーの普及と紐づけは、デメリットを明示して対策をしない限り進めるべきではない。</li> </ul>	15

【意見及びその理由】

<p>9-2 10-2</p>	<p>◎最終的にDXを推進するならば、個人情報保護を第一に考え、個人情報を政府や企業に提供する 場合、本人への許可と、「いつ誰が、どんな目的で」使用するかを条例で制定するべきです。 ※参考資料・情報 三木由希子氏(情報公開クリアリングハウス)「自治体の個人情報保護の仕組みはどう変わるか」 堤未果氏著書「デジタル・ファシズム」 サイバー攻撃リアルタイム</p>	<p>16</p>
<p>11</p>	<p>デジタルに市民の情報を活用するにあたり、安全性がどの様に守られるのか(個人情報の保護)につ いて、説明会を開いて頂きたいです。 個人の情報は命と同様に大切にされるべきです。 デジタル化は便利になっていくのかもしれませんが、メリット、デメリットの双方をしっかりと市民に説明した上 で、しかも安全性を確保した上で、次に進めるべきだと思えます。</p>	<p>17</p>